

素謡 弱法師 津村禮次郎 中 所 宜 夫

石井 寛人
鈴木 啓吾
中森 貫太
桑田 貴志

難波 墨 敬子

仕舞 東 北 新井麻衣子

船辨慶 永島 充

筒井 陽子
桑田 貴志
鈴木 啓吾
金子 仁智翔

狂言 鷹 礫 大名 大藏 吉次郎

道通り 大藏 教義
裁人 榎本 元
後見 上田 圭輔

房前大臣 坂 瞳子

能海 士 殿田 謙吉

懷中之舞 從者 則久 英志
從者 渡部 葵

浦人 大藏 基誠

後見 石井 寛人
鈴木 啓吾

金子 仁智翔 永島 充
新井麻衣子 中森 貫太
中森健之介 中 所 宜 夫
桑田 貴志 奥川 恒治

【休憩二十分】

大鼓 佃 良勝 太鼓 小寺 真佐人
小鼓 飯田 清一 笛 藤田 貴寛

【終演予定 午後四時】

許可のない録音、撮影は一切禁止です。携帯電話は電源からお切り下さい。演能や他のお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。場内によっては退場頂く事もございますのでご了承下さい。

素謡：弱法師(よろほし)

河内国高安(現在の大阪府八尾市付近)に住む高安通俊は、他人の讒言を信じて、実子の俊徳丸を家から追い出してしまふ。後悔した通俊は、俊徳丸の現世と来世の安楽を願ひ、春の天王寺(大阪・四天王寺)で七日間の修行を営む。その最終日に現れたのは、盲目の弱法師(俊徳丸)。

弱法師が施行の列に加わると、梅の花びらが袖に散りかかる。花の香を愛でる弱法師を見て、通俊は花も施行の一つだと言ひ、弱法師も同意し、仏法を称賛しつつ天王寺の由来を語る。通俊は、弱法師が我が子俊徳丸であると気付くが、人目をばばかり、夜に打ち明けようと考える。通俊は弱法師に日想観(沈む夕日を心に留め、極楽浄土を想う瞑想法)を勧め、弱法師は難波の絶景を思い浮かべるが、やがて狂乱し、あちこちにつまずき転び、盲目の悲しさに打ちのめされてしまふ。

夜更けになり通俊は、弱法師すなわち俊徳丸に父であると明かす。それを聞いた俊徳丸は恥ずかしさのあまり逃げてしまふが、通俊は追いついて手を取り、高安の里に連れ帰るのであつた。

今回は「素謡」という謡のみをお聞かせする形式での上演となる。

狂言：鷹礫(たかづぶ) 大名が山へ狩りに出かけると、よい所に鷹が一羽おり、大名が狙い定めているところへ道通りの男が現れ、鷹に礫をぶつけて仕留め、持つて行くこととする。「自分が狙い殺しておいたものだから返せ」と言う大名は男と言ひ争いになり、裁人にもう一度射直しては？と言われた大名は死んだ鷹を狙つて矢を放つが…。

仕舞：難波(なにわ)

難波の地に現れた王仁の霊。春鶯囀、秋風楽、万歳楽、青海波、採桑老：王仁は、このような音楽に引かれて天下を泰平に導く聖人が現れるであらうと告げ、御代を寿ぐ。

仕舞：東北(とうほく)

僧の串いのもとに現れた和泉式部の霊。東北院と極楽浄土の有様を重ね、その情景を讀えて語り舞う。

仕舞：船辨慶(ふなべんけい)

平知盛の怨霊は、経巻を海底に沈めようと、難刀を振りかざして襲いかかる。弁慶は数珠をもみ、五大尊明王に祈祷する。その祈りの力によつて、怨霊は調伏されて彼方の沖に消え、白波ばかりが残るのであつた。

能：海士(うみし)

藤原不比等「淡海公」の子、房前大臣(子方)は、亡き母を追善しようと、讃岐の国にある志度の浦を訪れる。

志度の浦で大臣二行は、ひとりの海士(前シテ)に出会う。一行としばし問答した後、海士は従者(ワキ)から、海に入つて海松布を刈るよう頼まれ、そこから思い出したように、かつてこの浦であつた出来事を語り始める。初めて明かされた出生の秘密に、思わず声を上げる房前大臣。彼は自らの名を明かすと、母への思いを語る。房前はこの海士に母の面影を重ねて懐かしみ、海士も涙しつつ、物語の続きを語り始める。緊迫した玉取りの様子を真似て見せた海士は、ついに自分こそが房前大臣の母であると名乗り、涙のうちに房前大臣に手紙(扇)を渡し、海中に姿を消す。【中入】

房前大臣は手紙を開き、冥界で助けを求め母の願いを知り、志度寺にて十三回忌の追善供養を執り行う。法華経の聲に導かれて、海中から母の霊(後シテ)が姿を現し、経巻を広げて高らかに誦誦する。救われゆく身を喜び、法華経の功德を讀えて舞を舞うその光景を前に、法会に集う人々もまた、法華経の功德を確信するのであつた。

小書「懷中之舞」は法華経の巻物を懷中に納めて舞う特殊演出となる。

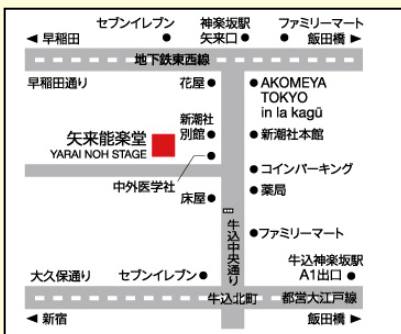
入場料 (全自由席)

会員券 (年4回) 一般 20,000円 学生 10,000円
1回券 (当日券) 一般 6,000円 学生 3,000円

申込先：各出演能楽師または緑泉会まで
津村 禮次郎 TEL 042-386-2131 FAX 042-386-2132
坂 真太郎 TEL 03-3873-5404 FAX 03-3873-5635

令和六年 第2回例会 2024年4月6日(土)

能… 清経 Kiyotsune …………… 新井 麻衣子
能… 杜若 恋之舞 Kakitsubata Koi-no-mai …………… 津村 禮次郎



2024. 2.23 (金祝) PM1:00 (正午開場)
矢来能楽堂
〒162-0805 新宿区矢来町 60
☎ 03-3268-7311
地下鉄東西線神楽坂駅下車 矢来口より徒歩 2 分
都営大江戸線牛込神楽坂駅 A1 出口より徒歩 5 分
駐車場はございません。
近隣のコイン駐車場をご利用下さい。